



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中!…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX: 0467-47-1164
木曜を除く10時~16時 Web URL: <http://www.yamasaki-yato.sakura.ne.jp>
Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

8/9 畑班の作業(ねぎ畑、さといも畑、さつまいも畑の草取り)



8/9 稲の花 ■

作業中に言葉も出ないほどの猛暑でしたが、おかげで谷戸の農作物は元気に成長しました。畑を守る土手の草刈りは、何回行ったでしょうか。ここまでみごとに育った米も豆も、このまま台風の影響に遭わずに、無事収穫期を迎えられますように。



☆各班からのお知らせ →2・3p ☆谷戸の自然だより→p4 ☆谷戸往来→5p ☆9~11月日程表(裏表紙)

各班からのお知らせ



田んぼ班 ★9/13(日) すがい作り ★19(土)、20(日)、27(日) はさ作り



8/19 田の草取り

今年の夏も暑かったですね。雨が少なかったもので、田んぼはちょっと水不足。そうかと思えば突然の豪雨で、田んぼはあふれんばかり。そんな中、7、8月は、田の草取りで汗を流しました。田んぼの草は、コナギ、オモダカ、ミズオオバコ、畔の草はセリ、アシカキなどです。いずれも有機栽培の田んぼとともに、希少種になりつつあるそうです。8月の中旬には、稲も順調に開花し、これからは10月初旬の稲刈りに向けて準備を進めていきます。



畑班

★9/6(日)草取り・草刈り・耕し ★13(日)たまねぎ・にんじんの種蒔き
★20(日)草取り・草刈り・耕し ★27(日) かぶ・冬菜の種蒔き

うだるような暑さ、小雨と新記録づくめの夏でした。畑の野菜もバテ気味で、生育がよくありません。汗みずくで作業をしていると、小枝そっくりに擬態しているカマキリを見つけてクスッと笑ってしまい、自然から元気もらいます。これから秋の大根やにんじんの種蒔きが始まります。



7/20 たのくろ豆の草取り



雑木林管理班

★9/6(日)アスマネザサの除去 ★13(日)刈払い機で草刈り
★27(日) 稲刈り前の草刈り



8/2 雑木林の下草刈り

夏の間の雑木林班の作業は、田んぼや畑、通路の土手の雑草刈りに明け暮れましたが、9月になると、いよいよ雑木林の手入れとして下草刈りを行い、秋から冬に向けた準備も始めます。この下草刈りは、堆肥作りに必要な落葉かきを行うための重要な作業でもあります。



農芸班

★9/9(水) 草木染め

鎌倉高校の生徒が「梅干しの天日干し」を体験しました。酷暑での作業となりましたが、赤ジソの葉と白梅酢を合わせた瞬間の鮮紅色に感動し、作業後に口に含んだ谷戸の梅干しに若い笑顔が弾けていました。

9/9(水)には保全活動のための草刈りを有効活用し「草木染め」をします。絹布に思い思いの細工をして、自然の色、偶然の形を楽しみます。



8/5 梅の天日干し



自然遊び班

7月26～27日、鎌倉市公園協会との協働開催による「子どもお泊り里山体験」が行われました。小学4～6年生男女16名が参加し、さまざまな里山体験をしました。

畑の草刈りや外来種（セイタカアワダチソウ）の駆除など、谷戸の自然を守る作業をし、谷戸の農産物での調理から火起こしまで子どもたちで行い、自分で作った竹の器とお箸で夕ごはんをいただきました。猛暑で日中の作業は大変でしたが、夜には涼しい風が吹きだし、静かで暗くなった谷戸で、おじさんの語る昔話を興味深そうに聞き入っていました。

翌日のかかし作りでは、個性ある4体のかかしができ上がり、緑の稲の合間に立つ姿は、田んぼの番人として凛々しく、勇ましく、かわいらしく…田んぼの風景が際立ったように思います。



★ こども里山一日体験

10/18 (日) 「さつまいも掘り」 10時～14時

2歳～小学生までの親子対象 定員先着10組

参加費：500円（会員以外の方）



生態系保全班

★9/2 (水) バッタやコオロギの調査 ★5 (土) 秋の虫の音を聞く



クサギの蜜を吸うカラスアゲハ

今年もパックテストで水質調査を行いました。結果は昨年と比べ変わりなく、生きものが住みやすい水質でした。方法は小さなチューブに水を吸い込んで、吸い込んだ水の変色を、標準色と比べていきます。谷戸の小川や水源など何か所も測るので、繊細で根気がいります。参加者は「初めての体験でした。地道で大切な作業ですね」。それでも、生きものに会えると笑みが湧きます。



8/5 水質調査 (パックテスト)



植物育成班

★9/16 (水) 土手の野草の分布調査



カナムグラの根
(通常と宿根化した根の比較)

暑い中、花粉が飛ぶ前に、必死にカナムグラの除去をしています。茎はツル状で、そこについたトゲなどを利用して周りのものに絡みつき、広く繁殖していきます。放置しておくと湿地や土手、畑までも覆ってしまうので、根っこから引き抜きます。ツルを切らずに根っこまでたどっていくのは根気が必要ですが、慣れてくると意外と面白く、やめられなくなってきます。除去したところに野草が咲くのが楽しみです。

谷戸の自然だより

～生態系から見た、里山の手入れ 水路その3～

① 生態系保全班で行っている手入れの方法

しいしの下の水路

子どもたちが川に入って遊んでいる場所です。小石や砂が多いので、池から流れてきたタニシやシジミなど貝類が多く見つかるのが特徴です。手入れは特に必要ありません。

しいしの上流の水路

公園の整備で護岸工事をした場所です。子どもたちは下りることができません。数年前の台風で山が崩れたため、川底には大小の石があります。ゲンジボタルやホトケドジョウ、トンボの幼虫が生息しています。木の枝が伸びて水面が見えなくなってしまうので、2年に1回くらい枝払いをしています。

小段谷戸の水路

進入禁止の場所なので、子どもたちは入れません。ゲンジボタルやトンボの幼虫など貴重種が多い水路で、園内の水生生物の保護区の役割を担っています。奥の水路は木の枝やササで覆われることがあるので数年に一度、枝払いやササを刈っています。また田んぼ沿いの水路は幅が狭いので台風の時には水があふれて田んぼに流れ込むことがあります。水路の掘削など氾濫防止の作業が毎年必要ようです。

野外体験広場北の水路

子どもたちが遊びに来る場所で、体験学習の足洗い場としても利用されています。オタマジャクシなど田んぼから流れてきた生きものが見つかります。水路に草が生えたり、ササが覆いかぶさってくるので、水路周辺の草刈りやツル、ササを刈る作業を年に2回くらい実施する必要があります。毎年、青空自主保育の保全作業や保育士講座の体験作業などで手入れをしてもらっています。

野外体験広場南の水路

水路の周囲に草むらを残しているので、一部を除いては近寄り難くなっており、保護されています。小段谷戸から流れてくる水路で、ホトケドジョウやカワトンボの幼虫など貴重な生きものが多い水路です。大雨が降るとあふれることがあるので、数年に一度水路を掘削しています。また、生物保護の観点から、流速を弱めるために落差工(水路に丸太などを入れて小さなダムを築くこと)を設置しています。

東谷沖(本田～梅林)の水路

東谷沖(谷戸の奥)の道沿いの水路です。草で覆われているので子どもたちは入りません。水量が少なく泥底ですが、ヘイケボタルやホトケドジョウ、トンボの幼虫など貴重種が多く、水生生物の保護区になっています。最近はゲンジボタルも増えてきました。水量が少ないため、夏になると草が生えて水路が塞がってしまいます。毎年1回は、周辺の草刈りと水路に生えた草を抜くことで、水路の環境を維持しています。また、専門家のアドバイスにより、数年前から水路の一部を分流し、道沿いから離れた位置に移動させようとしています。あまりうまくいきません。

開園以来、水路の環境はそれほど大きな変化はないようです。安全と生物の保護、そして子どもたちが遊べるような、水路の維持管理を考えています。



～ ホタルのお礼 ～

今年も、多くの会員や一般の方のご協力により、ホタルパトロールを終えることができました。どうもありがとうございました。私たちはこれからも、谷戸保全活動を通して、ホタルなど貴重な昆虫がすみ続けられる環境を守っていきたいと思っています。



谷戸往来 谷戸往来 谷戸往来

山崎の夏まつりに参加

7/19(日)、山崎夏まつりに今年も担ぎ手として5名が参加しました。酷暑の中、谷戸の田の稲穂をくわえた鳳凰が今年も巡りました。



福島の子どもたちの楽宿に協力

8/5(水)～8日(土)、かまくらあそび楽宿実行委員会等主催「第5回 かまくらあそび楽宿」が行われました。福島っ子18人、鎌倉っ子12人が親元を離れて光明寺にて寝食を共に過ごし、連

日材木座の海を満喫しました。有志のお母さんによるランチ作りには今年も当会より鍋、番重、ざる等の備品を貸し出しました。料理上手な母たちによるランチは毎年好評だそうです。



富士塚、深沢小学校教員補助作業を実施

8/25(火)、富士塚小の教員2名と5年生の子ども1名が、あぜの草刈り、大根畑の堆肥撒き、さつまいも畑のネット張り、稲の花の観察、9月に備えてのかかしの観察をしました。27(木)には、深沢小教員11名が参加して、あぜの草刈りのあと、当会のスタッフと交流をしました。いずれも、ふだんはつくれない貴重な時間となりました。【感想・富士塚小学校】☆丘の上から見た水田の景色はとても美しかったです。草刈りは終わったときの達成感が大きく、こうやって**苦労の上にお米作りが成り立っている**ことを改めて感じる事ができました。(5年 横嶋) 【感想・深沢小学校】☆授業で、農業の話やアイガモ農法のことなどやったが、**谷戸での体験が授業で参考になる**。(5年 渋谷) ☆今、米作りを授業でやっている。「**谷戸はこうだったね**」と話をしてい

富士塚小・堆肥運び



深沢小・全員集合!



る。(5年 松下) ☆前任校では、**屋上でバケツ稲をやったが大変だった**。谷戸では本物の田んぼに入れる。想像ができない。(4年 松本) ☆深小はここまでの移動があるが、**田んぼでできる**。普段のお世話は谷戸の方々がやってくれる。(6年 浅野) ☆子ども達が教室で「この作業、やったやった」と言う。**自分がやる事が大切**。(5年 久保) ☆2年担任だったとき、春夏秋冬、谷戸を訪れた。**たくさんの生き物がいて季節によって違うこと**を感じられる。(1年 山本) ☆2度目か3度目の草刈り…**谷戸の歴史、人生の教訓**。トンボが見られた。(2年 宮崎) ☆田んぼに入るのを躊躇した子も、2回目には入るのはこわくない。「**給食をもう残せないね**」と子どもたちが言っていた。(5年 平田) ☆自然の中での子どもたちは本来あるべき場所。**谷戸で自然体験の経験の差を埋められるのがいい**。(4年

村松) ☆こういう場所が**鎌倉にあること自体が財産**。長く続けられるといい。(空元教頭)